

# ピタットベース<sup>®</sup> Mini/M16 PAT.

## 取扱説明書

### 施工方法

#### 1 アンカーボルト設置

専用M16アンカーボルト吊下げボルト (M16延長用・オプション部品)

アンカーボルト吊下げ治具(市販品)

型枠

M16 3種ナット

専用M16アンカーボルト(M16-D19)

専用M16アンカーボルト(M16-D19)

M16座金

M16 3種ナット

▲ アンカーボルトは、基礎主筋よりも建物内部に入れてください。  
▲ アンカーボルトをコンクリート天端より60mm出るように設置してください。

#### ■ 配筋注意事項 納まり図

※納まり図は、基礎主筋とアンカーボルトの関係を示した模式図

▲ アンカーボルトは、基礎主筋よりも建物内部に入れてください。  
▲ アンカーボルトをコンクリート天端より60mm出るように設置してください。

#### 2 基礎立上りコンクリート打設

▲ コンクリート強度は  $F_c=21\text{N/mm}^2$  以上が必要です。  
▲ コンクリート天端仕上げは、セルフレベルングをお願いします。

#### 3 墨出し

※図は施工誤差のある場合

ドリフトピン8本使用

#### 4 ピタットベース 柱脚金物と柱を接合

※柱のスリット・孔寸法は標準図をご参照ください。

ピタットベース柱脚金物

#### 5 柱脚金物を墨に合わせて設置

#### 6 C1sリング挿入

C1sリングとボルトが接触するように設置

#### 7 C2sリング挿入

#### 8 Q1s座金設置

Q1s座金を柱脚金物の穴に均等に乗るように設置

#### 9 Q2s座金設置

▲ 凸部を下向きにしてください。

#### 10 M16ナット取付

締付標準トルク: 40N・m

#### Finish 完成

基礎用パッキン

▲ 金物は基礎に直接設置してください。(基礎用パッキンやゴムなどを間に入れないでください。)  
▲ 基礎用パッキン使用時は、土台との干渉に注意してください。

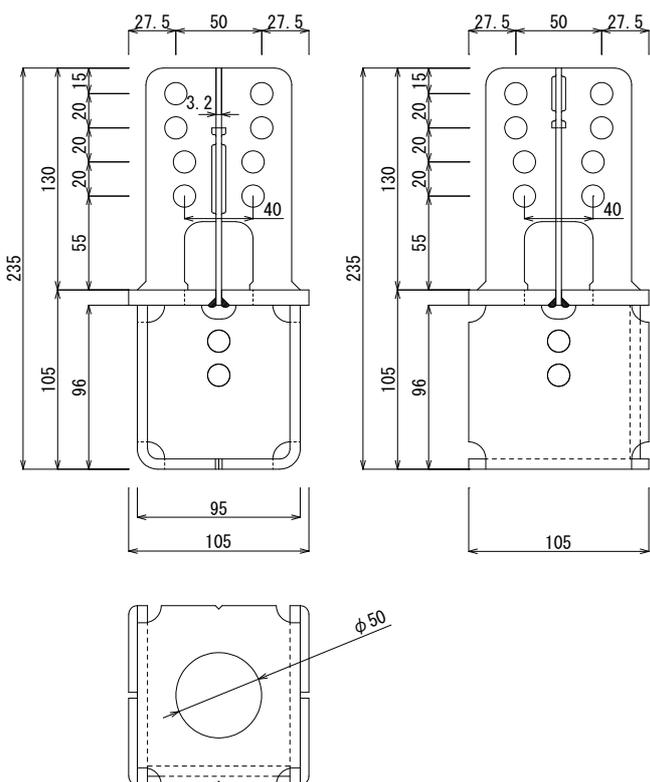
#### 使用工具

- ハンマー
- M16スパナ (二面幅24mm)

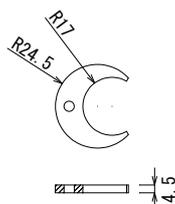
- ・専用M16アンカーボルトはコンクリート打設時等に動かないように固定してください。
- ・専用M16アンカーボルトの基礎仕上げからの突出寸法は+60mmです。
- ・ネジ部はコンクリート付着を防止するために養生してください。
- ・柱脚金物を設置する基礎の天端は、平滑に仕上げてください。
- ・基礎天端のレベルの管理を十分に行なってください。
- ・コンクリート打設後、ネジ部の周囲に付着したノロを除去してください。ノロがあると、C2sリングが入らなくなったり、Q1s座金が浮き上がってしまいます。

# 梱包内容

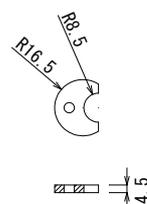
## ピタットベース柱脚金物



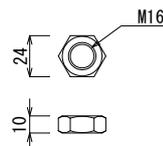
## C1sリング



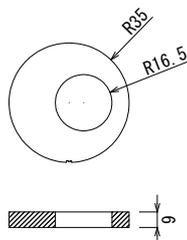
## C2sリング



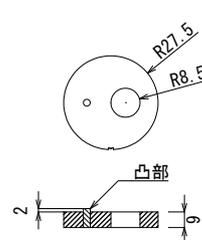
## M16ナット



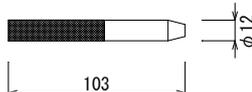
## Q1s座金



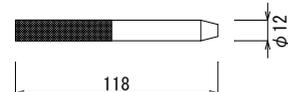
## Q2s座金



## ドリフトピン (105用)



## ドリフトピン (120用)



# 使用上の注意

- 必ず付属のリング、座金、ドリフトピンを用い、所定の数量で所定の位置に接合して下さい。
- 柱脚金物がドリフトピンの長さの中央に位置するように施工して下さい。
- ドリフトピンの穴をふかして使用しないで下さい。
- ドリフトピンの打込みによって木材に割れが生じた場合、木材を取り替えて下さい。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用下さい。
- 本製品はコンクリート基礎(Fc21以上)の上に直接設置して下さい。

- 本製品は専用M16アンカーボルトをご使用ください。
- 本製品をピタットベースFrontierに用いることはできません。
- 現場で防腐・防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意して下さい。(金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。)
- 放り投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱くと破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないで下さい。

・上記内容は予告なく変更する場合があります。